

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	白浜町立 白浜中学校	芝 久
学校所在地		
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2601 tel(0739)42-2444 fax(0739)42-2508		
担当者名		役職名・担当教科
奥井 圭介 / 嶋田 ゆか / 稲垣 光児 / 前田 香苗		教諭/教諭/教諭/教諭・ 国語科/英語科/社会科/音楽科
〔学校の概要〕		
<p>学校は校区のほぼ中央に位置し、遠方の生徒でも片道3km位で比較的近く、通学には恵まれている。校区には2つの小学校があり、5地区で構成されている。現在生徒数127名9学級、職員16名、保護者世帯111戸である。この地は紀伊水道に突き出た小半島で海洋の影響で気候は温暖である。万葉の昔から知られた温泉と自然美に恵まれ、景勝の地として古くから親しまれてきた。現在では温泉と海浜、それに大型レジャー施設を数多く持つ、近代的な観光地としてのびており、全国からの客の受け入れを立町の基本としている。生徒は明るくのびのびと活動的で人懐こいところがある。学習面においては、全体的にみると真面目に取り組むが、受け身の傾向が少し強い。教科によっては苦手意識が強い生徒もいるが、少人数授業や班での教え合いや助け合いによって、ともに高まろうとする生徒集団になりつつある。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
2年生 40名	53名 職員 43名	各教室 校区内各場所 本宮大社周辺
実践研究テーマ		
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度の育成		
実践教科等名	単元名	
道徳、総合的な学習の時間	郷土の伝統と文化に誇りを持ち、大切にしようとする気持ちを育む	
〔キーワード〕		
道徳 世界遺産学習 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 地域清掃		
〔単元目標〕		
<p>(1) 校区内の清掃を行うとともに、地域への所属感とふるさととしての意識を高める。</p> <p>(2) 白浜町の郷土の伝統と文化について考えよう。</p> <p>(3) ふるさとを思う心について、考えよう。</p> <p>(4) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の熊野参詣道に行き、郷土和歌山の伝統と文化を学ぼう。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名）〕		
全体6時間（「郷土の伝統と文化の学習について」 2時間）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
(1) 白浜第一小学校、白浜第二小学校・・・小学校6年生との校区内の清掃活動「地域清掃」		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域清掃事前学習 ・校区内の清掃活動を行うための準備をしよう。	・昨年、一昨年と行った活動だが、自分が行う活動の場所と内容を確認するとともに、小学校6年生にどう伝え、どう行動させるかについて考えさせる。	(関わる力) 観察 (感じる力) 観察
2	地域清掃 ・校区内の清掃活動を行おう。	・主体的に活動できるようにする。 ・自分の活動だけでなく、小学校6年生の活動にも意識を向け、助言できるようにする。	(関わる力) 観察 (実現する力) 観察
3	事前学習 ・世界遺産学習と道普請について知ろう。	・積極的に参加できるように助言を行うとともに、世界遺産についての学習する意欲関心を高める。	(関わる力) 観察 (感じる力) 観察
4	道徳 ふるさとを思う心について、考えよう。	・前年度学習した内容にも触れたり、班員の意見も聞いたりして、ふるさとについて自分の考えをさらに深める。 ・白浜町の郷土の伝統と文化について考える。	(創造する力) ワークシート (関わる力) 観察、ワークシート
5	・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の熊野参詣道に行き、郷土和歌山の伝統と文化を学ぼう。	・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度を養うため、世界遺産講座を受けるとともに道普請および本宮周辺散策を行う。	(関わる力) 観察 (感じる力) 観察
6	事後学習 ・「世界遺産学習、本宮大社周辺散策、道普請」から学んだことについて。	・前時を振り返り、学んだことを文章に整理する。	(関わる力) 観察 (創造する力) ノート、自己評価
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>郷土の伝統と文化の学習では、白浜町や和歌山県のことを知ったり、考えたりする機会となり、自分の郷土を見直すきっかけになったことは言うまでもなく、多くの生徒は郷土に誇りを持つことができるようになった。</p> <p>課題</p> <p>白浜町、和歌山県には、他にも様々な伝統と文化があり、それらを網羅する学習がいいのか、いくつか絞って学習していくべきなのか、難しい選択に迫られる。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産学習では、生徒たちが普段お参りをしている神社が、歴史や文化、伝統のあるものだと知って、自分たちの郷土に対する深い愛情がさらに深まった。また、世界遺産に登録されていることを知り、さらにその気持ちは昂ったようだ。また、実際に道普請を体験させてもらったことで、世界遺産を「この手でなおした」と感想でも述べている通り、貴重な体験となったようだ。これをきっかけに、「今度は高野山を調べたい」という考えを持つ生徒もいた。これらのように、テーマが身近でかつそれが世界的であるという学習は、生徒たちの気持ちを大変掴みやすいものである。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>世界遺産学習は、「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を育む上では、とても効果的な学習であると考えている。しかし、道徳の教科書や県教育委員会が発行している小学校用「心のとびら」や中学校用「希望へのかけはし」には、その掲載はない。自作で進めていくのも方法の一つであるが、教材として掲載されることで、和歌山県の児童生徒たちにまんべんなく学ぶ機会を保障でき、「紀伊山地の霊場と参詣道」の学習のみならず、「郷土」を誇りに思う児童生徒が増えるという、教育的効果が大きいと考える。</p>			

様式 2

令和2年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]



感想

郷土和歌山の伝統と文化を学ぶため、紀伊山地の霊場と参詣道を訪れました。世界遺産講座では、山伏の格好をし、演じながら説明をしてくださいました。楽しませようとしてくれ、とてもうれしかったです。説明の仕方は2つの物事からそれができているという感じで、とても分かりやすかったです。説明の途中で出てきた「文化的景観」と「神仏習合」の2つのキーワードは忘れることなく最後まで覚えることができました。

感想

熊野古道に道普請に行きました。土を運びました。スコップ3杯くらいの土を4回くらい運びました。けっこう重くて階段がしんどかったけど終わりました。



感想

道普請ではガイドの方に「1人、2・3杯土を入れる」と言われたのに、6杯とか8杯とか「入れて」という人がいて、あっという間に500kgがなくなりました。

感想

現地学習でした。お参りに行ったところは、八咫鳥というからすの像があって、マスクをしていました。お参りした神社は、お参りする順番があるようで、縁結びなど、いろいろありました。大鳥居は、横が42m、高さが34mだそうです。鳥居を抜けると林があり、そこからずっと行くと、一遍という念仏踊りを広めた人の像がありました。その辺は昔洪水が起こったそうです。バスに帰る途中には「私語橋」という橋がありました。「私語橋」は「しごばし」と呼ばずに、「ささやきばし」と読むそうです。「不思議な読み方をするんだな」と思いました。



感想

私は毎年、本宮大社へ行っているのに、その外見しか見ていなかったの、今回の学習でいろいろ驚かされました。日本で数少ない世界遺産に入っているすごい所が身近にあるのに、普通のように思っていて、もったいないと気づかされました。そんな参詣道を私たちが自分たちの手でなおしました。昔の人が残してくれた大切な道、これからも自分たちで守っていきたいです。

現地学習では、水につかり、清めてから参るなど、今なら珍百景に認定されるんじゃないかってくらい驚かされることや、3つの川に囲まれているからあの印になっている、とか、あの一遍さんが「1ぺん」だけきたとか、いろいろ知ることができて、自分の町のことをもっと知ることができて誇らしく思います。

自分たちの住んでいる和歌山って、本当にすごいことがわかりました。今回の学習を用意してくれた方々、世界遺産マスターの方々、バスの運転手さん、先生方、弁当を用意してくれたお家の人、みんなに感謝したいです。

